

轉て 教ぎょう

4
2019
April

信のとびら

平和な人間関係

4月のご奉公のすすめ

4月のお寺の行事予定

2月のご奉公日誌

門祖会 ご法門

御利益談

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

お助行を充実させましょう

糠谷信章師

私のよろこび

仲間のささえ

家族に伝えて

後続者育成活動報告

家族の絆 Q&A

何をしにお寺に行っているのか？ その5



佛立本旨講妙應寺

平和な人間関係



■落語の世界では

日晨上人の書き残された話に、落語家の柳家小さんと桂文治の対談がありました。

柳家小さんの弟子のつばめが政治家や有名人を酷評する漫談をやって物議を醸したそうです。落語としては新しい試みだと期待されていたようですが、一

方、当時73歳の桂文治も同様に首相の話などを落語の枕にしたそうです。柳家小

さんが言うには、弟子のつばめは悪口の言いつ放し、

桂文治はその話の後に、自分にもそんな欠点がありますが、と、具体例をつけ加えて悪口のどぎつさを和らげていたというのです。それを落語ではケシというそ

うです。そのケシが落語でのオチになる急所なんだろうです。

■新聞の論評では

新聞でも、政治問題に関しては一方だけを攻めるという印象与えないよう配慮する事も多いようです。世間から公平に見られたいためとも見受けられます。しかし、それが相互調和と

いうものではないでしょう。か。そういう事に考えが及ぶのが人間の善意でしょう。

■争いごとの発端

争いというものは、元をたたせば些細な問題から起こることが多いものです。お互いに味方を作ったり、野次馬が加勢したりと段々騒ぎが大きくなってきました。ついには、グループを組んでの争いになり自分の都合の良い理論を立てて相手を潰すことに心を砕くこととなります。相手も同様です。それが長く続くと本当に敵味方になって妥協の

余地は無くなってしまいました。

■更に展開すると

そして、相手の言葉尻を捉えてこちらも負けじとやり返す、すると相手も同じことをやり返すということになってしまいます。こういう態度を続けると、引込みがつかなくなり、なんの得にもなりません。喧嘩別れするしかありません。

■落語から学ぶこと

双方に、先程述べた落語で言うケシという配慮があれば大事になることは無いでしょう。相手がどんな

に攻め立ててきても、こち

らは反撃しないという覚悟がないと収集がつかなくなり、どれだけ神経が痛めつけられるか分からないものです。話し合う事が必要な論争では、特に感情的にならぬよう配慮が必要です。

■ご奉公での心遣い

それを養い、お互いに思いやる心を育むのが信心です。そこではじめてご奉公が滞りなくすすむというものです。お互いのご奉公がうまく運ぶよう、心遣いをもつて進んでゆきたいものです。

4月の寺内予定とご奉公のすすめ

今年度の御奉公テーマ「助行」

今月より新年度となり、日尚上人の御十七回忌を迎えます。今年度は総誓願が新たにになりました。5月より元号が変わり世の

中も新しい出発をします。

希望に燃えて新たな生活を始めた方もいます。新年度の始めに当たり、先ずは教区内助行を手分け

して実践し、総誓願を浸透させ、教区内の家族皆に祈願をかけてもらいましょう。

今月の「随喜轉教」

本年度から、総誓願は次の三項目になりました。

このご奉公目標を立て、開講本旨再興を目指します。総誓願に沿って各自の祈願も立てるようにおすすめしてください。

各項目について、御導師より解説をいただきました。

① 人の幸せを祈る信者になりましょう

応援祈願によって病氣全快や災難除滅など各種の現証利益が頂けるようになりました。そのどれにも共通する喜びは、支え

てくれる仲間がいるという点です。人の幸せを祈る菩薩精神を

もった信者をいっそう増やしてゆきましょう。（現証利益主義）

② 家族にもお講参詣をすすめます

信者が御利益を頂いた実際の体験を聞くと、信心のし方を端的に教わる事が出来ます。御講席で

喜びを語る信者の姿を見ることが信心増進につながるのです、家族にも御講参詣をすすめましょう。（僧俗一体）

③ お初穂の精神を家族で共有しましょう

敬いの心、裏表のない人格を持った人物を育てるのは家庭の役割です。御題目を第一に考えるお初穂精神を養うためにも、御宝前のお給仕は家族にも協力してもらいましょう。（家族の絆）

なお、

佛立本旨講弘通隆昌発展
信行相續ご奉公成就

この祈願は従来通りで変わりません。

新年度の始まりは希望も不安も

ある事でしょうが、「何事も祈願を立てて乗りこえます」の教え通り、祈願を立てて生活する喜びを班内家族に伝えると共に、応

援祈願の促進を図りましょう。

来月の「ご奉公のポイント」

一、日歓上人祥月御命日法要

5月26日(日)10時30分より奉修されます。関東のご弘通に尽力され、日本第一の弘通家と称される日歓上人の祥月法要です。一人でも多く将引し、大勢のお看経で奉修させて頂きましよう。なお、お香料・報恩塔婆の申し込みは寺務所へ、参詣予定者数は受持ち講師に5月12日までに報告して下さい。

二、蓮華会錬成会

5月19日(日)晨朝勤行に併せて開催します。若い人同士がお寺で出会い信心の友として親睦を深めることができます。連合教区の枠を超えて縁ある次世代の参加を勧めましょう。

日 程		4月のお寺の行事予定	時刻
1日～7日		開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	月	開講本旨再興祈願総講 地区・連合・教区・事務局辞令伝達式・ 平成30年度ご奉公の誓い(信徒代表)	10時半
6日	土	運営会議	9時半
		新参事会	10時半
		開導会奉修本部会議	11時
7日	日	評議員会(正・副議長選挙)	9時半
		開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要 奉修費奉納、御塔婆・参詣人数、バス申込締切	
13日	土	高祖大士御命日総講	10時半
		連合幹事会	12時半
		後続者育成連絡会	13時半
17日	水	開導聖人御命日総講	10時半
20日	土	日尚上人祥月御命日法要	10時半
		佛立本旨講創立記念式典 池袋・アカデミーホール	12時半
21日	日	六角堂奉告式	11時半
25日	木	門祖聖人御命日総講	10時半
		正副教区長会	12時半
		平成30年度後期納金表提出メ切	
28日	日	立教開宗記念5時間口唱会	9時半

2月のご奉公日誌 門祖会ご法門

門祖日隆大聖人御開山会式厳修

於 妙應寺

門祖会が2月17日(日)に奉修されました。

御看經のあと、スライドでは、4年前、四番町仮本堂で奉修されました門祖会での御導師のご法門を編集した日隆聖人のおはなしを上映。これをご覧になったTさん(渋谷港教区)は「日蓮聖人と日隆聖人のどちらが私たちにとって御因縁が深いものかよくわかりました」と感想を述べておりました。当日のスライド及び御導師ご法門全文はHPをご覧ください。

第二座 水谷日在導師

門祖聖人は、日蓮聖人以来のご利益の



ただける題目口唱の信心を保つのは大変な事なのだ、と教えて下さっています。ようやく京都に本能寺が出来た時に、ご本尊の裏に御持念誦文をしたためられました。その短い文

章の中に教義の全体が全て籠っており、後々まで、これを外さないようにしてもらいたいとおおせなのです。現在我々は御宝前にその御文を祀り、総誓願としていただいて毎回読み上げています。それは、門祖聖人以来きちんと伝わってきたご利益のただける信心・精神を間違わずに保つためなのです。

今日は改めて門祖聖人のことに思いを馳せて、これ以後のご信心に役立てていただければありがたいと存じます。

今年先ほど山本局長からのごあいさつ(裏表紙参照)の中にもありました様に、日尚上人の御十七回忌法要を4月20日と21日の二日間にわけて奉修させて頂きま

第二座 副住職 水谷随歎師



す。改めて我々佛立本旨講の結束を計りたいと思っております。まだ時間もありませんので、将引のご奉公の方よろしくお願いたします。



平成31年2月行事報告

1日～7日		「開講本旨再興祈願 朝参詣週間」
1日	金	開講本旨再興祈願総講を午前10時30分より奉修
2日	土	運営会議を午後9時30分より開催 財務委員会を10時30分より開催
3日	日	開講本旨再興祈願口唱会を午前9時30分より奉修 (担当第一地区・文教) 若い人の口唱会を午前10時30分より奉修
4日	月	信徒講習会を午前9時30分より開催 (第一回)
5日	火	寒参詣終了 (御礼参詣)
6日	水	門祖会奉修費・御供米料・お花料・参詣人数報告締切日
9日	土	連合幹事会を午前9時30分より開催 後続者育成連絡会を午前10時30分より開催 評議委員会を11時より開催
10日	日	高祖御降誕会総講 高祖大士御命日総講に併修 10時30分より奉修
10日～16日		門祖会無事奉修祈願朝参詣週間
15日	金	佛立本旨講創立記念式典申込締切
16日	土	門祖会全体会議および準備ご奉公を午前9時より開催
17日	日	門祖会 (開導聖人御命日総講に併修) 第一座 午前10時より奉修 第二座 午前11時30分より奉修
23日	土	信徒講習会を午前9時30分より開催 (第二回)
24日	日	信徒講習会を午前9時30分より開催 (第三回)
25日	月	正副教区長会を午前9時30分より開催
28日	木	平成31年度地区・連合・教区・事務局役員申請締切日

誹法物を払う事が出来ました

水戸教区 Tさん

産後の体調が…

川内村に嫁いだ次女が昨年

9月に3人目の子供を出産し、1カ月後に川内村に帰る際、産後の体調が少しおもしろくないので私も川内で手伝う事に致しました。何日かたつうち私の咳が段々ひどくなり夜もなかなか寝られなくなり、娘の体調も産後うつ症状がひどくなつてしまいました。

なんと誹法物が

これはどうしたのかと口唱しながら考えておりますと、私が寝ている枕元の孫のラン

ドセルに、誹法のお守りがついていたのでした。

「原因はこれだったのでは！」
と思い翌朝孫達にさつそく「ママの元気が出ない事や、ばあばの咳がひどくなるのは、他の神社やお寺のお守りとかがあるからじゃないのかな。家にはのんのさんがいらしてちゃんとお守りいただいているのよね！」と話すと、二人の孫達は「うん、わかった！」と言ってランドセルのお守りや他にもあったものを全て出してくれました。それを聞いていた、次女の

夫も、「お母さんこれでもですよね」と言つて神社の御札を出してきて実家に置いてきてくれました。

家族の理解と協力

すると、不思議に咳はおさまり、次女の病状も、心配してくださつたお導師のお助行ならびに皆様の応援祈願のおかげもあり、年末には体調もよくなり、家事や育児をする事ができるようになりました。

今回の事は、娘家族にご信心を分かつてもらつた良い機会になりました。

これからも娘家族達にご信心が正しく伝わっていただける様にご奉公させて頂きます。

談益御会組門

心配するならお題目を

人間教区 Jさん

娘Kさんの入院手術

Kは子供のころから二種類の抗生剤のアレルギーがあります。この度の足首骨折の手術は全身麻酔で行うためとても心配していました。しかし、皆様のお助行、ご祈願のおかげで「御法様にお任せしよう」と思え、とても心強かったです。

既にギブスも取れ松葉杖も外せ自力でずいぶん歩けるようになりました。怪我をした当時香里はとても忙しくて過労にならないか心配していた程でした。手術前日でも、病院のベッドの上で仕事をして

いましたので、これでゆっくりできるいい機会と安堵していました。

今は足をかばいながら、主人の面倒も見ていてくれているので、私も少しずつ外に出られるようになりました。そんな中、不自由な足で二階に行く娘を見ていた主人が「大丈夫？」と声をかけました。「心配してくれるなら南無妙と唱えて」と娘が言うとう主人は大きな声で唱え始めました。こんなに長く声を出して唱えるのは初めてなのでびっくりしました。本当に嬉しかったです。

お油さんのご利益

又、主人のお油さんによる喜びのお話をします。主人が定期検診で病院に行くと、入院時にお世話になった何人かの看護師さんが、「肌艶が良いわね、お顔きれいなね、何のクリームをつけてるの」とよく言われます。考えてみるとお油さんしか塗っていませんでした。主人は以前眠れず薬を飲んでいましたが、それでも眠れず昼夜逆転して困っていました。お油さんを顔に塗って「よく眠れますように」と続けていると何時しかよく眠れるようになっていました。お油さんのおかげで肌艶までよくなり、ぐっすり眠れて毎日明るく過ごしています。これもすべて御法様のおかげです。

お助行を充実させましょう

糠谷信章師

助行とは、御利益を願う人の応援をするご奉公です。

現在行われている助行の種類

◇育成助行

- ・地区の後続者育成助行
- ・信行相続の大事を伝え、今なすべき事を提案・相談・実行を約束をする助行です。
- ・班員宅助行

毎月の班長会でのご披露をお伝えする。家族の信心増進を相談、家の御宝前のお給仕、家族に祈願をすすめる、参詣将引をすすめる。

- ・御導師助行・御講師助行
- ・れんげ会の成人者宅助行

◇祈願助行

- ・本堂で晨朝勤行後のお寺全体
- ・祈願助行
- ・れんげ会の受験助行
- ・各教区での月初め祈願助行
- ・地区長の連合長宅助行

◇病人助行

病人・家族に、懺悔 改良 御利益感得の決意をすすめる、本人も助行者も共に口唱をして、病気はなおして頂けると信じて継る事です。

◇命日助行

教区の命日助行をお勧めします。両親祖父母の命日でしたら、きつと家族も参加するでしょう。家族を御宝前に近づける工夫は大事です。

◇御草像のお綿かけ・お綿外

し応援助行などがあります。本年度は、是非連合・教区・班内の「助行」を充実させましょう。

後継者育成 お助行よい

多摩教区 Aさん

どんな問題も

歯医者さんを目指して

Aさんの歯科医師国家試験を目前に控える中、「国家試験実力発揮」の御祈願をさせていただきました。小さな頃から歯科医師になることを目標にコツコツと頑張ってきた明穂さんですが、受験や学校の試験のたびに自ら「実力発揮」の御祈願をたてて乗り越えてこられました。歯科大学の卒業試験を無事にクリアし、残すは最終目標の国家試験。お参詣の皆さんで力のかもったお看経をさせていただきました。

小学5年生の時

Aさんは今までにも沢山のご利益を経験されています。なかでも記憶に残るのは、小

学校5年生の時に学校の二階から転落した事故です。

お母さんのCさんは、動揺しながらもまずは御宝前にAさんの無事をお願いし、また、たまたま蓮華会お講の最中であつたため、お講奉修中のお席に電話を入れ、Aさんのためのご祈願をお願いしてから病院に向かわれました。

Aさんが救急車で搬送された病院では、たまたま脳外科の名医が在院中で、その先生に診ていただくことができま

した。またベッドに空きがなかったにもかかわらずその先生の計らいで急速ベッドも用意してもらうことができ、病院をたらい回しにされずにすんだそうです。また、脳内出

血をおこしているにもかかわらず、手術はせずに点滴で治療できることになりました。

その後Aさんは順調に回復、後遺症も全く残ることもなく、現在に至っています。

この事故はお助行にお参詣していた皆さんの記憶にも強く残っており、今歯科医師を目指して頑張っているAさんの姿にご利益の有難さを改めて感じさせていただきました。

仲間のチャレン

突然の死

昨年末に教区のKさんが突然お亡くなりになりました。

今回の一連の出来事を振り返りますと、Kさんは妙應寺のご信心していて本当に良かったと強く感じています。もし、妙應寺のご信心していなかったら、今頃は無縁仏を葬るために練馬区が依頼している、山梨県の臨済宗のお寺に埋葬されていたであろうことをお聞きしました。

ご主人に先立たれ、一人暮らしでここ数年は体調がすぐれないKさんを、班長さん

練馬教区 Eさん

のTさんが日常的に面倒を見てくださったことで、Kさんの突然のご不幸を短期間で私は知り得ることが出来ました。そして、無人となった部屋に祭られている御本尊と無縁仏となった御遺骨の引き取りを役所にかけていただき、無事お寺にお供することが出来ました。

お寺でも、御導師は直ぐに戒名を付けてくださり、御講師の皆様も「御回向や納骨を皆さんで支援いたしました。う」と言ってくださいました。これこそ妙應寺御奉公の三本

柱である、「現証利益主義」、「僧俗一体」、「家族の絆」を実践した実例そのものだと思います。これほど私たち信者にとって大切にして下さるお寺は他には絶対ないと確信しています。

Kさんの御遺骨は、今は本堂に安置されています。四十九日にあたる今月二十五日に本堂で御回向をさせて頂き、六角堂に眠る御主人とまた一緒にすごしてもらいたいと思います。

家族に伝えて

護持御本尊を拝受して

昨年、私の主人は、護持御本尊を拝受させて頂きました。

御本尊に、KTと記しるされていることが、ありがたかったでしょう。

主人は、お正月、三人の子供達を呼び、みんなでお看経を上げてくれました。

子供達に伝えたこと

お看経を終えてから、主人から子供達に、護持御本尊をお祀りまつさせていただいたの
で、家に来た時は、御宝前にご挨拶をしてくださいね、と子供達に言っていました。

私は家族そろって、御宝前

なかの教区 Tさん

に向かってお題目を唱えたのは初めてだったので、とても嬉しかったのです。

それも、主人が先頭に立つ

て、ご信心をしてくれるのが何よりもありがたく思いました。

これからも御宝前におすが継りしながら、家族にご信心の喜びを伝えていきたいと思えます。

ご本尊下付式

中里教区 Tさん



Sさんは次女のご本尊奉安を喜び、「毎月1日にはお寺参詣をしてきました。今回、新たに御本尊を奉安するにあたり、御宝前の台の設置に関して娘の主人の協力いただいたのですよ」と語っております。



六角堂の紅千鳥べにちどりと枝垂れ梅しだうめ

★こどもたちの会★

「何をしにお寺に行っているのか? 5」

<p>南〇～経</p>	<p>① そうなんです!! 今回の事故で、仏様のお慈悲の深さを改めて感じました!</p> <p>⑥ それでもハッと気付いてお題目を唱えながら急救助を呼びました。</p> <p>先日は大変なご利益を頂いたそうですね!!</p>
	<p>② 私はいつも慎重な運転を心掛けているのですが、</p> <p>⑦ そして振り返ってみると、なんと若者が立ち上がっていたのです!</p> <p>先日は交差点に入った瞬間、猛スピードのバイクが突っ込んで来て</p>
<p>それはお詫らいてしたね!</p> <p>⑧ 奇跡的に打撲だけで済んだのです。</p>	<p>③ 私の車は大破</p> <p>相手のバイクはグニャグニャになってしまいました。</p>
<p>④ 本当はその通りです!</p> <p>自分は気を付けて、いても、いつ何が起きるかわからないものです。</p>	<p>④ それはもう、気がききやないですね。</p> <p>⑤ 自分が無事だった事よりも</p> <p>運転していた若者は道路に倒れたままピクリとも重かかなかったのです。</p>
<p>⑩ 平穩無事を感謝しながら、生きる様にと教わりましたね!</p> <p>いつもご守護を頂いてこそ、毎日が平穩無事に暮らせると改めて思い矢知りました。</p>	<p>⑤ 自分が無事だった事よりも</p> <p>若者の命を奪ってしまったかもしれない! というシロクで何も考えられず、</p>

2月17日 門祖会より

事務局局長のご挨拶

山本久男

思えば平成14年に目黒に日尚上人がお移りになったのが8月、お亡くなりになったのが翌年15年4月23日でした。はや丸々16年。日尚上人の思いに我々は佛立本旨講を立ち上げさせていただきまして、4月20日土曜日に佛立本旨講創立記念式典を開催させていただきます。

すでに皆様方にご案内させていただいておりますが、おひとり2000円、小中学生1000円、未就学の方は無料ですが、最近はなかなか2000円ではパーティは出来ませんので、皆様の応援をいただきたいと思えます。



轉教

平成31年4月1日発行 第20巻第4号 通算230号

編集兼発行人 山本久男

発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11

TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人